

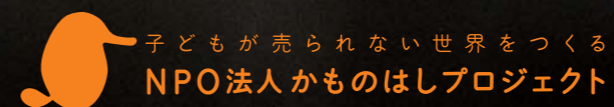
# 子どもが売られない 世界をつくる



団体名	特定非営利活動法人かものはしプロジェクト
有給スタッフ人数	日本人10名、カンボジア人23名(2012年5月現在)
住所	〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-1-10 代々木中央ビル102号室 TEL:03-6276-1378 FAX:03-6276-1379
E-mail	info@kamonohashi-project.net
HP	http://www.kamonohashi-project.net/
Twitter	@kamonohashiprj
Facebook	kamonohashi project / かものはしプロジェクト

※かものはしプロジェクトは、プライバシー保護のため、被害者が特定される写真は使用いたしません。  
※この報告書で使用している写真の少女は、カンボジアの貧困層の女の子ですが、実際の被害者ではありません。

この報告書は、サポートしてくださっている印刷会社のご協力により  
印刷することができました。



# カンボジアに生まれた少女 ヌイ

貧しい農家に生まれたヌイ。わずかな畑から得られる収入では家族みんなが満足に食べることはできません。彼女は都会でメイドの仕事に就くことを決め、両親は、彼女を連れに来た男から30,000円を受け取りました。しかし、家族のため懸命に働こうと思っていたヌイが連れていかれた先は、売春宿だったのです。彼女がそこを出ることができたのは、数年後HIVに感染しているとわかった時でした。衰弱する体で、両親の村をめざしたヌイでしたが力尽きて保護された施設でほんのしばらくのおだやかな時間を過ごし、短い生涯を閉じました。

「・・・怒りに震えました。  
どんな子も売られるなんてことがあってはいけない」  
かものはしプロジェクトは10年前  
そんな想いではじまったNPOです。

## なぜ子どもが売られてしまうのか？

貧しい家の  
子ども

親に十分な収入がない家庭では子どもも働かなくてはなりません。

「都会でメイドや工場の仕事に就ける」と説明され、親は信じてしまいます。

仲買人が来て「良い仕事がある」と紹介される

連れて行かれたのは売春宿

だまされたとわかっても逃げ出すことはできず拒もうとすれば電気ショックなどで傷つけられてしまいます。

保護されても、子どもたちはトラウマに苦しみ、社会的差別を受け、困難の中で成長していかなくてはなりません。

心にも体にも一生消えない傷を負う

# 子どもが売られない 世界はつくれる

10年の活動を通して見つけた答えは、子どもを取りまく、6つのファクターが連携を取りながら、すべて健全に機能していること。脆弱、未整備なファクターがあれば、かものはしプロジェクトをはじめとする、NPOやNGO、そして国が連携して改善していかなければいけません。そうすることで子どもが子どもらしく過ごせる社会を、つくっていきます。

## 【国(法執行)】が適切に 犯罪を取り締まっている

人身売買から子どもを守る法律がきちんと整備され、執行力を持った警察が機能していれば、子どもを売る／買うことは非常に困難になります。

## 【企業】が経済を 発展させ雇用を生んでいる

事業を行うことで雇用が生まれ、経済も発展し、子どもが売られてしまうリスクの高い貧困層が縮小していきます。

## 【大人(親)】が 仕事・育児をしている

安定した仕事、家族が食べていかれる収入があれば子どもは働かずにすみ、学校に通うこともできます。

## 【地域コミュニティ】が セーフティネットに

病気や不作などの事態や家庭内のトラブルに、地域住民が介入し助け合う風土があれば、子どもが売られるリスクはさらに下がります。

## 【サポーター】が 関心と支援を寄せてくれている

かものはしサポーターの皆さんのように、NPO/NGOの活動を支え、自分の子どものことのように関心を寄せ続けてくださる世界中の支援者の存在が不可欠です。

## 【NPO/NGO】が サポートしている

途上国の社会情勢は変化が大きく、子どもをとりまく環境も一進一退を繰り返します。支援団体が各地域に密着して見守り続け、適切なサポートを提供することで環境が成熟していきます。

# かものはしの10年

*Kamonohashi-Project marks its 10th anniversary*

最初は、ただただ悲しみと怒りに震える問題が  
大きな壁のように立ちはだかっていました。

でも皆さんに出会って、ひとつずつひとつずつ形にして、動かすことができました。

この10年を振り返ってみたいと思います。心からの感謝をこめて。

村田 早耶香



## 【2002年】

### かものはしプロジェクト結成

東京大学で行われたシンポジウムをきっかけに、村田・本木・青木が出会う。「この世界から子どもが売られる問題をなくしたい」村田の想いに動かされ、「ボランティアではなく社会起業でこの問題に取り組もう」と任意団体を立ち上げた。ディスカッションを重ね、事業モデルを模索する日々が始まる。

#### ● 2002年当時のカンボジアの状況

当時、10歳未満の子どもを扱うことはとても容易でした。子どもを売りたい日本人の間では「カンボジアは楽園だ」と表現されていました。被害者の数は闇の問題ゆえにはっきりしませんが、数千人から数万人が被害にあっていたといわれています。

## 【2002～2003年】

### カンボジアでの事業を立案

子どもが売られる問題が劇的に悪化していたカンボジアから支援を行うと決め、ITを軸とした自立収益型(自分たちで活動資金を調達できる)事業モデルを立案、日本での事業を開始。「ソーシャルベンチャーコンペティションSTYLE2003」で優秀賞受賞、「NEC社会起業塾」にも参加。



#### ● 東京都杉並区に事務所を開設。

## 【2004年】

### 初の現地事業をスタート

IT事業部の国内売り上げに支えられ、カンボジアに駐在員2名を派遣し、プノンベン事務所を開設。孤児院に保護された子どもを対象にExcel, Word, HTML構築などを約4ヵ月で学ぶパソコン教室をスタート。2007年5月までに延べ約200人の子どもが参加、孤児院からホワイトカラーの仕事に就く子ども、海外の大学進学を果たす子どもも現れた。



#### ● サポーター会員制度がスタート。初年度から、数十名の方が仲間になってくださいました。(2012年5月現在は、約2,500名)

## 【2005年】

### 最貧困層支援にシフト

ITを通じた支援の意義を実感しながらも、より子どもが売られてしまう危険が高い層＝農村部の最貧困層への支援にシフトすることを長い議論の末に決定。パソコン教室と並行して、新たな支援事業モデルを模索し始める。この年、村田が日経WOMAN主催「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2006」リーダーシップ部門を史上最年少で受賞。

#### ● 問題をめぐる世界の動き

国連が「子どもに対する暴力に関する調査報告書」を発表。この報告書を含む数々の調査が、性的目的の人身売買やインターネット上の子どもポルノに関する犯罪が増加していることを警告しています。

## 【2006～2007年】

### コミュニティファクトリー創業

シェムリアップ州のアンコールワット遺跡近郊で、職業訓練とい草を使ったおみやげ品の製造を行うコミュニティファクトリーを現地NGOと協働で立ち上げ。初年度は38名の訓練生を迎えた。



#### ● 村田、TOYP(ジョン・F・ケネディやジャッキー・チェンも受賞している、世界で最も突出した若者たちに贈られる賞)受賞。トルコで行われた表彰式でかものはしの活動についてスピーチし、スタンディングオベーションを受ける。

● 学生ボランティアチーム「ゆるかも」発足。

## 【2008年】

### 独自のファクトリーを立ち上げ

現地NGOとの運営指針の違い(かものはしが目指すのは、単なる援助ではなく自立支援)から、独自運営のコミュニティファクトリーを新たに立ち上げる。訓練生14名を迎え、識字教室も開始した。



#### ● 問題をめぐる世界の動き

第3回子どもと青少年の性的搾取に反対する世界会議がリオデジャネイロで開かれ、140カ国から3,000名以上が議論に参加。村田も日本から参加しました。

Kamonohashi-Project marks its 10th anniversary

10

## 私たちが動けば 助けられる命がある

インドでは、性産業の働き手の23%が誘拐や詐欺の被害者という報告があります。バングラデシュでは、客が幼い体つきを好まないため人身売買の被害にあった上、太らせるために豚飼育用の栄養剤で無理やり体を成長させられてしまう子どもたちがいます。カンボジアの状況が落ち着き始めた2010年頃から他の国々の調査を開始した私たちは、12、13歳の少女、ときには7、8歳の子どもを数千円で買うことができたかつてのカンボジアと同等かそれ以上の現実に直面することになりました。

…それでも、この問題は解決に導くことができるのです。

## 10年で学んだことを糧に 新たな一歩を踏み出します



### 【2009年】

#### 孤児院・警察支援に着手

より多くの子どもたちを守るために、人身売買の被害児やリスクの高いストリートチルドレンを保護する孤児院と、カンボジア政府やUNICEFが共同で取り組む警察支援プロジェクト(LEAP)の支援に着手。資金とノウハウ提供の両面からサポートをおこなう。



●「いくつもの壁にぶつかりながら」をPHP研究所より出版。



### 【2010年】

#### 他国支援を視野に

カンボジアの被害状況が落ち着きはじめたことから、国際NGOと連携して近隣他国のリサーチを開始。インド、バングラデシュ、ケニアなどを視察し、かものはしが培ってきた問題解決ノウハウを他国に展開する手法も模索しはじめる。

#### ● 問題が、急速に解決に向かう

最近10年のGDP伸び率は平均7~8%。子どもを売らねばならないほど貧しい家庭が減ったこと、警察の執行力の向上など様々な要因から、カンボジアで子どもを買うことはこの2、3年で非常に難しくなりました。

● 社会人ボランティアコミュニティ「かもカフェ」発足。

### 【2011年】

#### 順調な推移、そして決断

コミュニティファクトリーの訓練生が約90名まで増え地域の最貧困家庭をほぼカバーできたこと、地元マーケットに直営店をオープン、警察支援プロジェクト(LEAP)が効果を発揮しカンボジア内務省のウェブサイトが発信されるなど、すべての事業が順調に歩みを進める中、活動資金調達役目を終えつつあるIT事業の解散を決断しました。

● 村田、ジョンソン・エンド・ジョンソンによるヘルシー・ソサエティ賞を受賞し、皇太子殿下に謁見。



ひとりでも多くの子どもを守る

# かものはしの決意

2012年、かものはしプロジェクトはインドに支援を拡げます。

カンボジアで得た経験や信頼、他機関とのパートナーシップを原動力に新たな一歩を踏み出すことを、ここにご報告します。

急速に解決が進むカンボジアで培ったものを、世界の子どもたちへ。

カンボジアで人身売買の被害にあう子どもは、支援を始めた10年前の1/10以下になっています。でも世界を見渡せば、自尊心を粉々にされながら働かされている子どもがまだたくさんいるのです。私達が掴んできたノウハウを、早く他国へ拡げたい…ずっと願ってきたことがいよいよ現実になります。カンボジアでの実績が評価され、各国の政府やNPO/NGOと10年前とは違う立場で連携できる手応えも感じています。そして、かものはしがこうして活動を重ねてこられたのは、私たちの仲間になって子どもに思いを寄せ続けてくださる皆さんがいたからです。本当にありがとうございます。これからも、子どもが売られない世界を作る仲間として、どうぞ一緒に進んでください。



理事長  
村田 早耶香

法が機能する世の中をつくれれば、子どもは守られる。

カンボジアで子どもを買うことは本当に難しくなりました。これは政府やNPO/NGOによる様々な取り組みの成果ですが、中でも「法執行」の効力が大きいです。インドでも他団体と連携しての救出活動や警察との関係作りから着手していきます。実地調査と文献を総合したリサーチ力、政府や国際NGO、地元NGOの動きをコーディネートする力が当面のかものはしの強みになると思います。カンボジアの子どもが売られる問題がここまで改善された、それはものすごいことで、10年間にかものはしに関わってくれた方みんな、他の日本のグループ、国際的なグループ、カンボジア政府、市民社会と一緒に勝ち取った成果なので「これだけのことをできたってすごいことだ!」と、ひとつ誇りに思ってもらえたら嬉しいです。



副理事長  
本木 恵介

よい変化を定着させ、社会そのものを底上げしていく。

コミュニティファクトリーでは、2011年度に3人の訓練生を営業職や生産管理職に登用しました。学校へほとんど通えなかったため、読み書きはもとより毎日同じ時間に出勤するという概念さえ持たなかった女性たちが、大学卒の職員とともにオフィスで仕事をするまで成長したのです。ここまでの道のりは平坦ではありませんでしたが、悩みつつ、粘り強く取り組んできたことが実を結び始め、今後さらにかものはしを成長させていくと思います。子どもが売られてしまう問題に特化して、リサーチから現地コミュニティに入り込む取り組みまで一貫しておこなえるNPOは世界を見渡しても希有です。最も売られてしまうリスクの高い最貧困層の人たちと向き合い、生活や生き方そのものを向上させてきたプロセスは、他の地域でも緊急の問題解決がすすんだ後の重要なノウハウとして生かしていきたいと思っています。



副理事長  
青木 健太

## Japan [日本]



仲間を募り  
活動を支える

広報活動/ファンドレイジング活動  
かものはしのサポーターの皆さま ▶▶▶



## India [インド]



被害を今すぐ食い止める

- ① 救出・摘発支援
- ② 法執行(警察支援)

- ①で連携するRescue Foundation  
代表のトリベニ・アチャルヤさん ▶▶▶



## Cambodia [カンボジア]



継続した支援を

- ① コミュニティファクトリー経営
- ② 法執行(警察支援)
- ③ 孤児院支援

- ②で連携する内務省長官のブルムソカー閣下 ▶



## かものはしが取り組む問題解決のステップ

### STEP 01

現地調査で  
被害状況を把握

赤線地帯の実地調査とともに、現地警察やNPO/NGOの活動状況を把握。どのような連携、支援が最も効果的か作戦を練ります。

### STEP 02

法執行の強化  
(警察支援)

効果の現れが早く、かものはしが強みとしている警察訓練から支援を開始します。

### STEP 03

よい変化を持続させる  
継続的な支援

現地の人々が自分たちの力で法執行や安定した仕事の創出をおこなうことが最終目標です。



子どもを売らせないとりくみ  
コミュニティファクトリー経営

# 大人に仕事を 子どもに教育を

コミュニティファクトリーで働く村の女性と代表の青木  
Photo by Natsuki Yasuda / studio AFTERMODE

カンボジアの農村では、貧しさゆえに子どもや女性が、売られてしまう危険にさらされています。かものはしは2006年、仕事を見つけるのが難しい農村に、コミュニティファクトリーという、生活雑貨を作る工房を立ち上げました。女性を雇って自立できるように手助けします。これは子どもたちが売られない仕組みを作る一環です。女性たちは働くだけでなく、人間的な成長を目指せる環境になっています。

## 観光客に人気の雑貨づくりが 女性の「生きる力」をはぐくみます

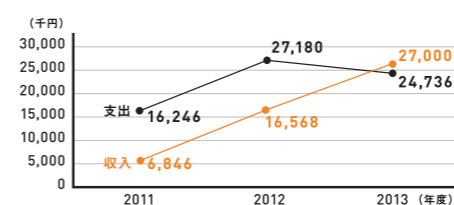
ファクトリーがあるシェムリアップ州にはアンコールワットがあり、たくさんの観光客が訪れます。約90人の女性が作るのは、い草やココナツの葉を使ったみやげ用の雑貨です。作った製品は、直販店や高級ホテルでとても人気があります。女性たちが自分の力で生きていけるように、さまざまなスキルを学べるような仕事内容です。読み書きや算数の教室を開くほか、家庭訪問などによるきめ細かいサポートに全力を尽くしています。



## 自分たちのお店をオープン 売り上げは毎年順調に成長し 黒字化まであと一歩！

より自立的な運営を目指し、黒字経営という目標を成し遂げるつもりです。製造、販売の担当者は日々成長し、管理職を中心に、自分たちの力で運営ができるよう、着実に歩んでいます。働きぶりは見違えるように進歩し、雑貨デザイナーの本告純子さんを始めたプロボノの皆様の協力もあり、製品のクオリティは増々よくなっています。2011年7月には、第1号となる直営店をオープン、好調な売り上げを達成できています。2012年度には、人数を増やして生産量を増やすとともに、直営店の新規展開も目指します。売上高はハイペースで成長しています。2013年度も2~3倍の売り上げアップを目指しており、現地での自立が手の届くところまでできています。

【コミュニティファクトリーの収入と支出】



- 2011年度は円高と震災の影響により支出を抑えて運営
- 支出からはソーシャルエンパワメント部門の費用は除く
- 2013年度より日本人が関わる費用が大幅に削減される予定

コミュニティファクトリーは  
皆さんに支えられています  
ぜひ製品購入や工房見学を！

### 手作り製品を買って応援！

女性たちが手作りした製品が、公式ウェブショップでお買い求めいただけます。皆さんのサポートが女性の自立につながります。ご自身に、大切な人へのプレゼントに、ぜひお買い求めください。



I love Cambodia 検索

### 工房を見に来てください！

日本からたくさんの方が訪れ、女性たちの頑張る姿を目にしています。気に入った商品をお店でご購入いただけます。商品が売れることは、女性たちの自信につながります。



## 19歳のチャントレアは 母の急死で心を痛めたとき みんなに支えられました

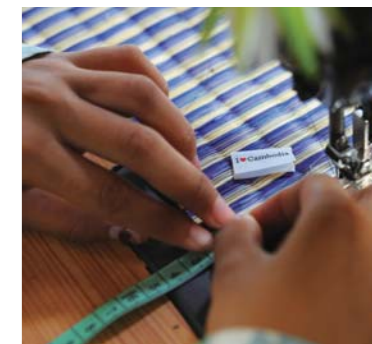


ファクトリーで働く女性に、19歳のチャントレアがいます。お母さんが小さな雑貨店を営んでいましたが裕福ではありませんでした。そこで学校をやめて、プノンペンの工場で働き始めました。6年も家族ばらばらの暮らしを続けた後、2011年夏にファクトリーで働き始めました。ところが今年2月、最愛のお母さんを事故で亡くしました。突然のことに、しばらく何も手につきませんでした。そのとき、訃報を聞いたファクトリーのみんなが、寄付を募ってくれました。お葬式や当面の生活費にするためでした。そうしたみんなの想いに支えられ、チャントレアは今、元気にファクトリーに通っています。

### → 今後のビジョン

- ① 自立できる女性を育てる
- ② カンボジア人による運営へ

コミュニティファクトリーの女性たちは、いつの日か工房を卒業して、それぞれの場で活躍するかもしれません。彼女たちがどんな道を選んでも困らないように、家畜の飼育法や野菜の栽培法、家計管理の知識など、幅広い学びの機会を整えます。黒字化は、手の届くところまでできています。一人ひとりの作業効率をさらに高め、コスト削減も進めます。いよいよ、カンボジア人による経営に向け、知恵を絞る時期だと考えています。カンボジア人に実質的な経営者になってもらい、大切な役割を少しずつ任せていきます。日本人はサポート役に徹することで、自立への道を全力で支えていきます。





子どもを買わせないとりくみ  
法執行(警察支援)

# 絶対に買わせない 警察支援

警察により救出される少女のイメージ

子どもを買う人がいなくなれば、売られてしまう子どもをなくすことができます。買う人や売る場所を確実に摘発できる仕組みを、絶対に作らなければなりません。そのためにはカンボジア警察の能力向上に全力を尽くしたいと思います。かものはしは2009年から、カンボジア内務省が国際機関などと進める警察支援プロジェクト(LEAP)に加わり、法執行の強化に力を入れています。

## 確実に摘発できるように つなぐ役目を果たします

LEAPにはカンボジア内務省のほか、警察、国際連合児童基金(UNICEF)、国際NGOが参加しています。子どもを売る売春宿は、巧妙な手段で罪を免れようとしています。LEAPの取り組みを通じて、警察官は、確実な逮捕のテクニックを徹底的に訓練し法律の知識を深めます。実際の捜査と変わらないほど、実態を踏まえた訓練もおこないます。カンボジア警察は、着実に力をつけています。かものはしは、現場に根ざしたきめ細かい支援をおこなうため、欠かせない存在となっています。内務省などによるLEAPの中心的活動と、カンボジアの各地域の取り組みの橋渡し役を担います。

## LEAP議長である ブルムソカー内務省長官 からのメッセージ

カンボジアでは現在、多くの警察官が、子どもが無理やり売られることがないように取り締まりを強化しています。犯罪を法律に基づいた手続きに従って厳しく処罰することは、事件の発生そのものを減らすことにつながります。警察官をしっかりトレーニングして、子どもが売られる問題や人身売買に関わる人を確実に逮捕できるようにすることは、非常に効果的だと考えています。



かものはしは、きめ細かいサポートをしてくれるので、大変頼りになっています。必要なことがあるとすぐに動いてくれる、心強い存在です。今後の取り組みにも、大いに期待しています。もし別の国際機関と調整が必要な局面があれば、私が間に入って橋渡しの役割を果たすつもりです。また、カンボジア政府内で調整が必要なことがあれば、私に相談してもらいたいと思います。力を合わせれば、必ずや成果が得られると信じています。

警察支援により、子どもが売られてしまう問題は、少しずつ減ってきています。こうした取り組みを進める上で、かものはしの協力は欠かせません。協力関係をより強固なものにして、今後の取り組みに力を入れたいと思います。

## 逃げ続ける売春宿オーナーを 執念の捜査でついに逮捕！ 警察力は確実に向上しています

カンボジアの警察は最近、とても力をつけてきています。2011年には、これまで何度も試みながら捕まえられなかった、売春宿オーナーの逮捕に成功しました。

このオーナーは、何年も前から複数の売春宿を経営していました。警察は以前から、このオーナーを捕まえようと狙っていました。ところが、オーナーは、強力なコネクションを生かして、警察の手を逃れていました。売春宿の状況はきわめて劣悪だったそうです。オーナーは、少女たちが一人で宿を離れることを認めず、日常的に虐待を加えていました。彼女たちは死の恐怖を覚えながら、病気にかかってもどんな時間でも、客の相手をするのを強いられていました。

警察は過去に何度も失敗していましたが、粘り強く捜査を継続しました。人身売買問題の解決を目指すNGOと、宿の捜査で協力を強化しました。こうした執念の取り組みが実を結び、不可能に思えたオーナー逮捕につながりました。警察が摘発に向ける強い決意をみせることは、他の売春宿オーナーに、宿の経営を断念させる効果もあります。



※写真は摘発時の様子ですが、別の事件のものです。

### → 今後のビジョン

- ① 各地の警察の状況を評価
- ② 中央と現場をつなぐ役割を果たす

法執行はあらゆる地域で強化する必要があります。ところが、カンボジア政府が単独で、すべての地域を管理することは容易ではありません。そこで、かものはしは、ブルムソカー内務省長官と現場を結びつけるための、人づくりや仕組みづくりに力を入れていきます。具体的には、各州警察の人身売買対策部署の能力や州ごとの犯罪状況を評価し、全体像がしっかりと把握できるようにします。さまざまな困難がありますが、カンボジアを「子どもが無理やり売られない国」にするためには、必ず成し遂げたいと思います。







子どもを売らせないとりくみ

孤児院支援

# 頼る人がいない子どもを 孤児院で保護

支援している孤児院を代表3人が訪問(2011年11月)

貧しくて子どもを育てられない家族や、親がいない子どもたちがいます。ストリートチルドレンやスラム街で暮らす貧困家庭の子どもは、売られる危険にさらされています。子どもたちが安心して暮らせ、将来のために勉強ができる場所が必要です。かものはしは2009年から、孤児院で暮らす子どもたちを資金面で支援することで、子どもたちが将来に希望を持てるように応援しています。

## 子どもたちが夢を持てるように 安心できる暮らしを支援!

かものはしが支援するのは、タイとの国境に接する街ポイベトにある、ドムノータック孤児院です。この街は、タイで仕事を求める貧しい人たちが国中から集まり、劣悪な環境で生きています。親が働けなくなってしまったり生活に困窮したりして、ストリートチルドレンになってしまうとひたすらごみ拾いをする生活が始まります。自らの将来に希望を持つことはできません。孤児院では、人身売買の被害にあった子どもや、あう可能性の高いストリートチルドレンを保護し、食事や教育を提供しています。現在、孤児院で暮らす約50人の子どもたちを支援しています。また、孤児院に入れない子どもを支えたり、孤児院卒業後に社会へ羽ばたく若者の就職も支援する予定です。

## 精一杯勉強できる環境 学校で2番の成績に チャンスは希望に変わる!

孤児院で保護されている子に、チャンティという13歳の少女がいます。彼女は、貧しい家に生まれたため、十分なご飯を食べることができませんでした。そのため、同じ年頃の子どもと比べるととても小柄です。今は、栄養満点のご飯を食べて、元気に暮らしています。午前中は孤児院で英語とパソコンを勉強し、午後は小学校に通います。勉強が大好きで一生懸命取り組んだ結果、学校で2番目の成績をとりました。子どもは誰でも、チャンスさえ与えられれば、自分の可能性を花開かせることができます。孤児院で生活する子どもたちは、希望が持てる将来のために頑張っています。



## 空腹感や将来への不安から 逃れるためにシンナー中毒になる 子どもたちを早く救いたい

ストリートチルドレンの多くは、シンナーを吸った経験があるといえます。空腹感や将来への不安から目を背けるために、手を出してしまうそうです。中毒になると、辛抱強く働いたり机に座ってじっくり勉強をしたりすることができなくなります。マフィアか泥棒くらいしか、将来の道がなくなってしまいます。できるだけ早い段階で、安心できる生活の場を提供し、学校に通えるようにすることが必要です。孤児院への受け入れを待っている子どもがいます。



## パナック工業株式会社 中村健作代表取締役会長からの メッセージ

2011年にロータリークラブで行われた講演を聞き、かものはしの取り組みを知りました。カンボジアを訪れたのは、子どもたちがどんな生活を送っているのか自分の目で見て、実感したいと思ったからです。孤児院や裕福ではない農村地帯を見て回り、村田さんをはじめとするかものはしの若者が、困難な状況の中で、本当に頑張っていると感動しました。孤児院の子どもたちと比べたら、日本で暮らす私たちの暮らしは豊かです。自分たちが、子どもたちの力になってあげることが、与えられた役目ではないかと考えています。私は71歳ですが、先輩にあたる方々には、社会貢献に熱心な人がたくさんいます。自分も見習いたいという思いから、かものはしを応援しています。



### → 今後のビジョン

- ① 安定した運営に全力で
- ② 就職支援や奨学金も

孤児院の子どもたちは18歳になると卒業します。卒業後、自分の力で生活できるように、就職活動も応援したいと思います。カンボジアに進出している日本企業の紹介を検討しています。孤児院のある地域には、ストリートチルドレンやスラムで暮らす子どもなど、すぐに助けが必要な子どもがまだまだたくさんいます。放っておけば、劣悪な環境の中で病気になったりシンナー中毒になったりする危険性があります。この子どもたちが学校に通うための奨学金支給を早急に検討します。



日本でのとりくみ  
日本事業

# 売られる子どもを守る 仲間をふやす



2011年度の総会でサポーターの皆さんと話す村田

## 1 想いを共有する仲間をつくる サポーター・寄付事業

かものはしプロジェクトでは、現地での資金源となるファンド・レイジング（資金調達）を、**フレンド・レイジング（仲間づくり）**と捉えて活動しています。支援をする側／される側といった垣根を取りはらい、みんなで問題解決に立ち向かう。現在では、その理念に賛同し集まってくださった方たちはサポーター約2,500名、法人会員約100社、ボランティア約250名にもなります。今後もこの仲間の輪をさらに拡大し問題解決を進めるべく、日本でのさまざまな活動を積極的におこなっていきます。



## 現地が抱える問題と、かものはしを 正しく知ってもらうための広報活動

### 代表・村田による講演会

2011年度は78回の講演を行い、約2,300名に伝えることができました。また、雑誌やWEBなど多くのメディアに取り上げていただきました。

### 二木(にもく)会 毎月第2木曜日に行われる活動説明会

2011年度は約400名にご参加いただきました。終了後は参加者同士や代表、スタッフとの交流の場を設けています。

### カンボジアへのスタディツアー

年に数回、H.I.S.と協同で企画したスタディツアーを主催。現地の状況が肌で感じられる体験型プランです。

## 問題解決を促進するための 寄付を募る活動

### サポーター会員(個人会員)

毎月継続的に寄付をくださるサポーター会員のほか、1回ごとに自由額が寄付できる制度も設けています。2011年度は、新しく約435名の方がサポーター会員になってくださいました。特に20~30代の若い層からの支援が多いのも、かものはしの特徴です。

### 法人会員

かものはしが掲げる理念や活動目標、事業内容に賛同いただけただけの企業や団体様から、年間寄付をいただいています。2011年度も約100社からの寄付または資金以外のご支援をいただきました。

## 2 参加者同士の交流もはずむ 多彩なボランティア活動

かものはしには、1日から気軽に参加できるものや得意分野が活かせるプロボノまで、さまざまな形態のボランティアがあります。

### ゆるかも (学生ボランティア)

“ゆるやかな国際協力の輪”をコンセプトとした、かものはしの学生支部。グローバルフェスタや学園祭などでかものはしの活動を伝えるイベントを企画したり、ゆるかもメンバーでカンボジアツアーをおこなってコミュニティファクトリーの女性たちと触れ合ったりも。約20名の学生が集い、まるでサークルのような和気あいあいとした雰囲気ながら、活動を通して大きく成長できる学生団体です。



### かもカフェ! (社会人ボランティア)

空いた時間やスキル、趣味などを生かし、1日からボランティアができる、社会人を対象とした団体。約250名のメンバーが携わっています。活動内容は、事務作業やイベントの受付、企画書作成、デザインなど多岐にわたります。いくつかのプロジェクトがあり、それぞれ定期的なミーティングや交流会も積極的におこないながら、参加者同士がワイワイと楽しく取り組んでいます。



### ボランティアディ

会員の方への資料発送などをお手伝いする日です。月に一度、オフィスに集まり楽しくおしゃべりしながら作業しています。毎回、初参加の方もいて、普段は出会えない方と知り合いになれるのも魅力の一つです。

### イベント・キャンペーン

かものはしの仲間を増やすためのイベントの企画・運営をサポートするチームです。パラカップ、グローバルフェスタといったチャリティイベントやチャリティコンサートのお手伝いもおこなっています。

### 広報プロボノ

“かものはしの活動を伝える”という大切な業務をサポートするチームです。2011年度より、企業広報担当者やライター、映像ディレクターなどプロフェッショナル・スキルを持つメンバーがプロボノとして参加しています。

## 3 IT事業 解散の決定とこれまでの御礼

活動を支える資金調達を担ってきたIT事業。皆様のご指導・ご協力をいただいて10年間邁進してきましたが、昨今の市況や技術動向の急速な変化に対応しながら安定した資金調達を続けていく難しさに何度も直面し、内部で話し合いを重ねた結果、2011年度をもって解散することを決断しました。IT事業が培ってきたビジネスマインドはこれからも、掲げた目標を具体的に実現していくDNAとしてかものはしの活動を支えていくと思います。2011年度は売上目標対比106%を達成し、有終の美を飾りました。長い間、たくさんのご協力ありがとうございました。

かものはしの活動に興味をお持ちの方は  
お気軽にご連絡ください。

[E-mail] [info@kamonohashi-project.net](mailto:info@kamonohashi-project.net)  
[電話] 03-6276-1378

最新の活動状況やイベント情報などはこちらから!  
WEBサイトからはメルマガ登録もできます。

かものはしプロジェクト 検索

f Kamonohashi Project / かものはしプロジェクト  
@kamonohashiprj

# かものはしの仲間たち

約2,500名のサポーター、約100社の法人会員、そして約250名のボランティア。かものはしは、たくさんの人たちの支援、そして一人ひとりの真摯な想いに支えられています。



**若い人たちが、問題解決に向けて全力で取り組んでいる姿に心うたれます。**

かものはしの活動理念に共感するのは、「支援を受ける人の自立を目指す」というところです。世界中の一人でも多くの子どもが教育を受けられること、少しでも幸せになることが私の願いでしたので、その実現を目指すかものはしと出会い、活動を支援することは、必然の出会いであり自然な流れでした。若い人たちが問題解決に向かって真剣に取り組んでいる姿は、とても感動的です。現地の状況を良く見て適切な活動を行っていると思いますし、人権に対する意識が高いのも素晴らしい。目には見えなくても、かものはしに共感し、応援している人はたくさんいますよ。

小笠原 恵子さん(寄付会員)

**社会に新たなビジョンを提起する社会起業家との出会いに、多大な影響を受けました。**

会社の先輩に誘われてボランティアに参加したのが、かものはしを知ったきっかけです。それまではビジネス上で知り合う人が多かったのですが、かものはしを通して社会起業家やNPOの世界で活動している魅力的な人々と出会うことで、自分の中の価値観やキャリアプランにも大きな影響を与えてもらいました。今、私はプロボノとしてかものはしの活動に関わっていますが、“子どもが売られる問題の解決”という、ビジネスの枠を超えた究極の問題解決に取り組むことは、本業とはまた違うやりがいや刺激であふれています。

齋藤 直毅さん(プロボノ)



**自分が親になり、世界中の子どもの笑顔を守りたいという意識が芽生えました。**

私は幼少のころ、ジャカルタで3年ほど暮らしていたことがあり、そこではじめて貧困層の生活というものを目の当たりにしました。幼心にもショックが大きく、それ以来いつも頭の中に「恵まれない人の役に立ちたい」という想いがありました。そして自分が親となった今、たまたま産まれた場所が貧困地区だったという理由で人身売買の被害者になってしまう子どもがいる、その現実が悲しくてたまりません。子どもだけでなく、なにより我が子を売らなければならない状況におかれた親も、想像を絶する悲しみを抱えていると思います。子どもの笑顔は何ものにも代えがたい宝。かものはしにサポーターという形で関わりながら、一人でも多くの子どもが救われてほしいと、切に願っています。



田中 明佳さん(寄付会員)

**これまで蓄積してきたノウハウを生かし、今後は他途上国への展開も期待しています。**

2003年度の「NEC社会起業塾」という社会貢献プログラムの受講者に、当時学生であった村田さんと青木さんが選ばれたのが、かものはしとの出会いです。NECはこの起業塾を修了した団体へのフォローアップとして、現在に至るまで団体の自立化と成長を支援し続けています。長い間かものはしの活動を近くで見えてきましたが、途上国での開発支援などに従事したい若者に、多大なる刺激と勇気を与えてきたこと、また組織基盤整備も含め、活動に着実な進捗が見られる点において、大変評価しています。「NEC社会起業塾」修了生のベストな事例とも言えるでしょう。これからも常に原点を忘れることなく、活動の発展を目指してがんばってほしいと思っています。



日本電気株式会社(NEC) 前CSR推進部長 兼 社会貢献室長 鈴木 均さん

**途上国の子どもたちの状況を伝え、一人でも多くの子どもたちの環境を変えていきたいです。**

私は子どもの頃に大変な状況の中で暮らした経験があるため、途上国で子どもたちが困難な状況にさらされているのを、何とかしたいと思っています。今、私は日本でタレントや女優として活動していますが、こういった途上国が抱えている問題を、日本のみなさんに広く、深く伝えていきたいという使命を強く感じています。番組で村田さんと出会い、貧しい国の売られる子どもの問題に取り組んでいるかものはしプロジェクトの存在を知ったとき、その活動やスタッフの熱意にとっても共感しました!この夏に個人的にスタディツアーにも参加し、カンボジアの子どもたちに会って、現地の状況を肌で感じてきたいと思っています。



女優・タレント サヘル・ローズさん

**安全な収入と、自立のための教育。かものはしは、この村にたくさんの笑顔をもたらしてくれました。**

2008年、ここクチャ村にかものはしのファクトリーができたことで、たくさんの人たちが救われました。村内で仕事を果たすことで、タイや遠い街へ出稼ぎに行かなくても済むようになりましたし、何より喜ばしいことに、人身売買やドラッグの被害にあう人が減りました。さらにファクトリーで働く彼女たちにとっては、毎月一定の収入が安全に得られるだけでなく、識字教育や生きていく上で必要な知識・スキルが学べることも、大きな魅力でしょう。自信や自立心を持ち、貧困から抜け出して幸せな生活を送る——彼女たちにとって遠い憧れだった夢が、ついに現実になったのです。現在、かものはしは村の人からも信頼を得ており、クチャ村と非常にいい関係を築いています。これからも私たちの村や地区と協力して、このファクトリーを継続して行ってほしいです。

コミュニティファクトリーがあるクチャ村の村長 オン センさん



## 評議員・顧問

**【顧問】**  
**下澤 嶽さん**  
 静岡文化芸術大学  
 教員



インドが本格始動できる状況になったことは、大きな成果だと思います。子どもが売られる問題をこれまで以上に「包括的」「戦略的」に対応するNPOとして成長を続けていってください。もうひとつ重要なことは、カンボジアでの問題が縮小した実態をひとつのモデルとして要約し、世界に伝えていく役割かと思えます。これからがんばっていきましょう。

**【評議員】**  
**岡崎 邦明さん**  
 有限会社アルゴソフト  
 代表取締役



事業の実情をよくとらえ、現実を直視した対応ができています。【かものはし】が立ち上がって10年になります。10年前を思い出して10年後のビジョンを明確にした上で、短期目標の達成に注力することが大事でしょう。変化する世界に対応できる、専門的能力と業務処理能力をもつ人材が育つことを期待しています。

**【評議員】**  
**鈴木 敦子さん**  
 NPO法人 ETIC.  
 事務局長



2011年度、かものはしプロジェクトは世界でのアプローチを強化させました。ミッションに対して、サポーターに対して社会的成果を追求した結果だと思います。常に時代にに応じて変化させ、ミッションを追求する姿勢は本当に敬意を表します。これからも、世界を代表するソーシャルエンタープライズとして、問題解決に寄与していくことを期待します！

**【評議員】**  
**石関 正浩さん**  
 国際NGO  
 元カンボジア駐在員



PDCAの早さに裏付けられた、修正力と実行力。このため、事業と組織の整備も進み、プロボノはじめサポーター数や収入の飛躍的な増加につながっていると思います。カンボジア事業の展開はもとより、新規事業国の展開も楽しみです。スマートさだけでなく、現場を足で稼ぐ泥臭さも大切にしていきたいです。

**【評議員】**  
**小城 武彦さん**  
 東証一部上場会社  
 代表取締役社長



10年目を迎え、新たな飛躍に向けた検討を本格化した1年であった。かものはしプロジェクトのミッションを果たすために、カンボジアでの貴重な経験を、今後どのように活用すべきか。リソースは足りているのか。「かものはしらしき」とは何か。山の頂を目指して、また一つ越えるべき壁が現れた。メンバーの奮闘を期待している。

**【評議員】**  
**高橋 義孝さん**  
 経営コンサルタント



2011年度もミッションに対し一定の成果を上げたことを評価したい。一方で組織存続のために「自分たちのこと」も考える必要性に迫られている。団体設立10年目を迎え、若さを武器に走ってきたメンバーも家族の生活を背負う年代になってきた。社会貢献と自身の生活を両立させる方法を考え「NPOで働く人間は清貧で生きよ」という社会の暗黙の認識を変えていける存在になってほしい。

**【顧問】**  
**鶴尾 雅隆さん**  
 株式会社ファンドレックス  
 代表取締役



かものはしのいいところは、具体的な目標設定、課題分析をしたうえで、一步一步チャレンジするところ。この「地に足のついてる感」がいい。ただ、寄付というのが、「信じて託す」という行為であることを考えると、そろそろ、もう少し大きな目標で、大向こうをうならせる仕掛けを見せて欲しいというのも正直なところ。そのプレイクルー、期待しています。

**【評議員】**  
**越 純一郎さん**  
 株式会社せおん  
 代表取締役



かものはしプロジェクトは、幾つかの社会的な役割を果たしてくれたと思います。①児童買春根絶に向けた努力、②社会貢献活動の文化を日本で深めるための一翼、③若者がここまでできることを示して、大人にも元気を与えた、④メンバーの人間の成長の場となった。次は、成長したNPOとしての姿を示してほしいです。

**【顧問】**  
**田作 朋雄さん**  
 事業再生アドバイザー



2011年度の活動は、これまでのカンボジアでの成果を踏まえての次のステップを模索ながらのものでした。今後の方針につき、必ずしも統一見解には至っていませんが、鶴の一声的な強制によるのではなく、若人の自発性による展開こそが、かものはしプロジェクトの強みです。引き続きの生産的議論とさらなる飛躍に期待します。

## かものはしメンバー

**【日本スタッフ】**  
**理事長**  
**村田 早耶香**



2002年フェリス学院大学在学中、かものはしプロジェクトを創立。世界経済フォーラム(ダボス会議)において、Global Shapers Community(世界を変える30歳以下のリーダー達)のメンバーに選ばれる。明治学院大学非常勤講師、国際協力NGOセンター史上最年少理事。

**日本事業**  
**統括ディレクター**  
**山元 圭太**



同志社大学卒。学生時代にフィリピンでゴミを拾って生活する子どもたちと出会い、「世界中の子どもが幸せに暮らせるお手伝いをしたい」と奮起する。大学卒業後は経営コンサルティング会社に従事し、2009年より、かものはしプロジェクトに参画。

**【スタッフ】**  
**太田 有紀子/森 ジュニア/かすみ/川名 晴子/亀山 菜々子/野溝 明子/川田 由香**

**【インターン】**  
**壹岐 朔巳/織田 大樹/金田 麻希/川添 寛喜/高取 真尚/高橋 大介/浜千代 詩歩/林 美美代/堀井 崇弘/前埜 孝枝**

**副理事長**  
**本木 恵介**



2002年東京大学在学中、村田とともにかものはしプロジェクトを創立。カンボジアでのコミュニティファクトリー経営、警察支援事業の立ち上げに携わる。現在は活動事業の拡大を目指しインド・バングラデシュ・アメリカ・カンボジア・日本を往来する日々。かものはしの経営戦略担当。

**経営企画・**  
**管理担当マネジャー**  
**朝岡 真央**



立命館大学卒。2007年に株式会社カネカへ入社しアジア営業を担当。「売られてしまう子どもを守りたい」という想いを、事業を通して着実に実現しているかものはしプロジェクトに強く共感する。2012年7月よりかものはしプロジェクトに参画予定。

**副理事長**  
**青木 健太**



2002年東京大学在学中、村田とともにかものはしプロジェクトを創立。おもに日本事業の管理、IT事業の立ち上げに携わる。2009年より、カンボジアのコミュニティファクトリー経営の管理責任者として活動中。年間11ヶ月弱はカンボジアに滞在している。妻と1歳の娘がいる。

**広報担当マネジャー**  
**小島 瑞代**



立命館大学卒。2002年にカルチャー・コンビニエンス・クラブ株式会社に入社。村田代表の「この問題は必ず解決できる」という信念に共感し、子どもがだまされて売られてしまう問題を世の中に広く理解してもらうため、2012年7月より参画予定。



**【現地インターン】**  
**清水 梢/瓜生原 琢実**

**【かもカフェ! リーダー】**  
**守屋 智敬/平野 善隆/安藤 昭太/折笠 依理子/加藤 政樹/清田 一成/小宮 伸一/齋藤 直毅/牧野 有実子/黛 由香里**

**【ゆるかも 代表】**  
**鎌倉さおり**

## 報告書の作成に関わってくださった方々

**坂之上 洋子さん** ブランド経営ストラテジスト  
 シカゴ、ニューヨーク、北京と15年以上の海外生活後、現在東京在住。政治家、企業、NPOのブランディング戦略が主な仕事。ブログや執筆した本が人気で最近では大学や企業での講演も多数。[ブログ] <http://blog.sakanoue.com/> [Twitter] @sakanoue

**安田 菜津紀さん** フォトジャーナリスト  
 1987年神奈川県生まれ。studio AFTERMODE所属フォトジャーナリスト。16歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたち取材。現在、東南アジアを中心に、中東、アフリカ、日本国内で貧困や災害の取材を進める。2009年、カンボジアのHIV問題の取材で日本ドキュメンタリー写真ユースコンテスト大賞受賞。共著に『アジア×カメラ「正解」のない旅へ』(第三書館)、『ファインダー越しの3.11』(原書房)。上智大学卒。

**永井 順子さん** フリーランスコピーライター、ライター  
 コピーライティング/P02-11

**服部 牧夫さん** 読売新聞社/記者  
 コピーライティング/P12-17

**関根 里佐子さん** フリーランスコピーライター、ライター  
 コピーライティング/P18-23

**生駒 浩平さん** サイ株式会社\*/アートディレクター  
 アートディレクション/グラフィックデザイン

**平田 雄一郎さん** サイ株式会社\*/プロデューサー  
 コーディネート/プロデュース/進行管理

**高橋 大介さん** かものはし/広報担当インターン  
 進行管理アシスタント

\*サイ株式会社 NPOや企業のクリエイティブ業務を中心としたデザイン会社。NPOの広報/クリエイティブを高めるために日々活動中。広報や制作のご相談は[hello@saicompany.jp](mailto:hello@saicompany.jp)まで。

## 【カンボジアスタッフ】

**商品開発部門**  
**マネジャー**  
**ソバン**



ファクトリー立ち上げ時から働いている、カンボジアオフィスで一番のベテランスタッフ。昨年から商品開発にもチャレンジし、商品の売上アップに貢献。

**営業部門**  
**マネジャー**  
**モリカ**



NGOでの仕事を希望し、約1年前からかものはしスタッフに。持ち前のコミュニケーションスキルを生かし営業スタッフをまとめる営業マネジャーとして活躍中。

**財務・経理部門**  
**マネジャー**  
**トート**



前職は銀行員。貧しい村の出身で、かものはしの活動に共感して約2年前からスタッフに。財務/経理部門とソーシャルエンパワーメント部門のマネジャーを兼任している。

**生産部門**  
**マネジャー**  
**ボラ**



今年2月に入ったばかりの新・生産部門マネジャー。以前はホテルで会計をしていた。NGO勤務を希望し、欧米系NGOで実務経験を積んだ後、かものはしに参画。



**【財務・経理部門】** ソバンナ/ソピアップ/ホン/マライ  
**【生産部門】** サイオン/ソバン/ホン/ベン/ブレア/レップ/ソン/ヴァニー  
**【ソーシャルエンパワーメント部門】** オン/ブンリー/ソジェット/ブッティ  
**【営業部門】** スレイマオ/チャンレイ/コムソット

## 支えてくださっている企業・団体の皆様



公益財団法人トヨタ財団

特定非営利活動法人  
ネットワーク『地球村』

- アクシスソフト株式会社
- 特定非営利活動法人クロスフィールズ
- さとわ社会保険労務士事務所

- IAC総合不動産鑑定株式会社
- アサヒワンビールクラブ
- アチーブメント出版株式会社
- アトムメディカル株式会社
- 一般財団法人京葉鈴木記念財団
- 一般社団法人日本弱酸性美容協会
- インフォテリア株式会社
- 日本電気株式会社(NEC)
- MS&ADインシュアランス グループ  
ホールディングス株式会社
- 奥医院
- 柏木建設株式会社
- かながわ湘南ロータリークラブ
- 株式会社アイエー
- 株式会社アイム
- 株式会社光彩工芸
- 株式会社ジャクバ
- 損保ジャパン「ちきゅうくらぶ社会貢献ファンド」
- 株式会社永屋

- 一般財団法人ジャスト・ギビング・ジャパン  
宇部クラブ 有志
- エムユーシー株式会社
- おとな寿司セミナー 有志
- 小田原北ロータリークラブ 有志
- 小田原城北ロータリークラブ 有志
- 株式会社アンナ
- 株式会社伊藤事務所
- 株式会社インシュアランス・ソリューションズ
- 株式会社江戸川双輪舎
- 株式会社せおん
- 株式会社ソニー・デジタルエンタテインメント・サービス
- 株式会社デジタルライツ
- 株式会社ラファイエット
- 川崎西ロータリークラブ 有志
- 川崎マリンロータリークラブ 有志
- グロービス経営大学院大学 講演会参加者 有志
- 国際ソロプチミスト厚木
- kokobaby
- こども富貴堂

一般財団法人日本メイスン財団

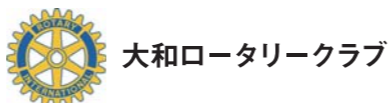
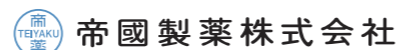


- 株式会社HRインスティテュート
- 株式会社セールスフォース・ドットコム

- 株式会社ニューブリッチ
- 株式会社古木企画
- 株式会社本物研究所
- 株式会社松尾商工
- 株式会社メディアエーター
- 株式会社リオ・トラスト  
(クリック募金Heartinの寄付先として)
- 株式会社良品計画
- 株式会社リンクマックス
- 川越中央ロータリークラブ
- 川崎南ロータリークラブ
- 川崎ロータリークラブ 有志
- キュービーグループ  
マッチングギフト「QPeace」
- 国際ソロプチミスト東京・東
- さくら共同法律事務所
- JANIC NGOサポート募金
- 住友生命保険相互会社
- 世田谷聖母幼稚園

- 寒川ロータリークラブ 有志
- 自由大学 講演会参加者 有志
- 女性診断士の会"Ami" 有志
- つながりプロジェクトおかやま 有志
- 東京麻布ロータリークラブ 有志
- 東京江戸川中央ロータリークラブ 有志
- 東京江戸川ロータリークラブ 有志
- 東京麹町ロータリークラブ 有志
- 東京江東ロータリークラブ 有志
- 東京江北ロータリークラブ 有志
- 東京後楽ロータリークラブ 有志
- 東京城東ロータリークラブ 有志
- 東京都市大学学生団体連合会横浜分室
- 東京八王子北ロータリークラブ 有志
- 東京福生ロータリークラブ 有志
- 東京武蔵野ロータリークラブ 有志
- 東京目黒ロータリークラブ 有志
- 東京UC
- 東京理学会社
- 東京リバーサイド・ロータリークラブ 有志

外務省



- セールスフォース・ドットコム  
ファンデーション
- 株式会社リアライズ

- センチュリー法律事務所
- 高園産業株式会社
- 日本電算機販売株式会社
- ハウジングスカイ株式会社
- ヒューマンズ・ネット株式会社
- VGホールディングス株式会社
- 富士ゼロックス株式会社
- 富士ゼロックス株式会社 端数倶楽部
- プラス株式会社
- 三井住友銀行ボランティア基金
- ヤフーボランティア
- 有限会社居宅介護支援事業所・愛101
- 有限会社テニスピアジュエ
- 有限会社ナチャー
- ライスの鈴木
- リーバイ・ストラウス ジャパン株式会社
- ロングブラックパートナーズ株式会社
- ワタベウェディング株式会社

- 東京臨海ロータリークラブ 有志
- 岡山読書朝食会 有志
- 特定非営利活動法人チャリティ・プラットフォーム
- 日本テレネットサービス株式会社
- 箱根ロータリークラブ 有志
- ハナミズキ
- Follow Your Passion 有志
- 藤沢東ロータリークラブ 有志
- 藤沢ロータリークラブ 有志
- 福澤諭吉記念文明塾  
polyvariant
- 大和田園ロータリークラブ 有志
- 有限会社たも屋
- ユナイテッドビープル株式会社
- 横須賀ロータリークラブ 有志
- 横浜MM21ロータリークラブ 有志
- 横浜南ロータリークラブ 有志
- 横浜ロータリークラブ 有志
- ル・スリル・ダンジュ
- Lopeha

※順不同、敬称略



## 受賞歴

- 2003年 NPO法人ETIC主催「ソーシャルベンチャーコンペティションSTYLE2003優秀賞」受賞
- 2005年 日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2006」リーダーシップ部門を史上最年少で受賞
- 2006年 社団法人日本青年会議所主催「人間力大賞・参議院議長奨励賞」受賞
- 2006年 社会に貢献している優れたWEBサイトに贈られる「三石玲子賞」受賞
- 2007年 ジョン・F・ケネディやジャッキー・チェンも過去に受賞したTOYP(世界で最も傑出した若者たちに贈られる賞)受賞
- 2009年 国際ソロプチミストアメリカ日本東リジョン主催「女性のために変化をもたらす賞」受賞
- 2010年 公益財団法人社会貢献支援財団主催「社会貢献者表彰」受賞
- 2011年 社団法人日本看護協会とジョンソン・エンド・ジョンソン グループ日本法人各社主催「ヘルシー・ソサエティ賞」を受賞し、皇太子殿下と東宮で謁見
- 2012年 財団法人ユースワーカー能力開発協会主催「若者力大賞」受賞
- 2012年 独立行政法人国際交流基金主催「地球市民賞」受賞

## メディア掲載(一部抜粋)

- | テレビ | 2008年 1月 | NHK教育「福祉ネットワーク 社会起業家の挑戦ーカンボジアの農村を救いたいー」 |
|-----|----------|---|
|     | 2008年 7月 | テレビ東京系「カンブリア宮殿 世界を救う社会起業家たち！」           |

- | 新聞 | 2008年 12月 | 毎日新聞 代表村田の講演会掲載                           |
|----|-----------|---|
|    | 2009年 5月  | 産経新聞 代表村田のインタビュー掲載                        |
|    | 2009年 6月  | THE DAILY YOMIURI 読売英字新聞 かものはしプロジェクト紹介    |
|    | 2009年 9月  | 日本経済新聞夕刊「フォーカス」で、かものはしプロジェクト紹介            |
|    | 2009年 9月  | 朝日新聞夕刊 代表村田のインタビュー掲載                      |
|    | 2009年 9月  | 朝日新聞朝刊 かものはし×ボリバレントの500円募金ユニフォームキャンペーン掲載  |
|    | 2010年 1月  | 読売新聞朝刊 多摩地区版 「世のため シゴト」コーナーでかものはしプロジェクト紹介 |
|    | 2010年 12月 | 朝日新聞夕刊「ニッポン人脈記」にかものはし代表村田インタビュー掲載         |

- | 雑誌 | 2008年 2月   | 読売ウイークリー「新就職先「ソーシャルベンチャー」って何？」       |
|----|--|--------------------------------------|
|    | 2008年 6月 <th>月刊 ニッキンマネー「輝く」</th>                       | 月刊 ニッキンマネー「輝く」                       |
|    | 2009年 2月 <th>クロワッサン 特大号「あなたに伝えたい」</th>                 | クロワッサン 特大号「あなたに伝えたい」                 |
|    | 2009年 4月 <th>週刊ダイヤモンド「『社会起業家』全仕事 あなたにもできる世直しビジネス」</th> | 週刊ダイヤモンド「『社会起業家』全仕事 あなたにもできる世直しビジネス」 |
|    | 2009年 7月 <th>日経WOMAN8月号 代表村田著書「いくつもの壁にぶつかりながら」紹介</th>  | 日経WOMAN8月号 代表村田著書「いくつもの壁にぶつかりながら」紹介  |
|    | 2009年 8月 <th>アントレ10月号 特集「起業して上手くいく人の「磁力」大研究」</th>      | アントレ10月号 特集「起業して上手くいく人の「磁力」大研究」      |
|    | 2010年 7月 <th>THE21「いま輝くビジネス・ウーマンの肖像」</th>              | THE21「いま輝くビジネス・ウーマンの肖像」              |
|    | 2010年 12月 <th>25ans 社会貢献特集</th>                        | 25ans 社会貢献特集                         |
|    | 2011年 2月 <th>日経WOMAN3月号「幸せな仕事ベスト30」</th>               | 日経WOMAN3月号「幸せな仕事ベスト30」               |
|    | 2012年 6月 <th>日経ビジネス「旗手たちのアリア」</th>                     | 日経ビジネス「旗手たちのアリア」                     |

- | 著書 | 2009年 6月 | 「いくつもの壁にぶつかりながら」PHP研究所 村田 早耶香 著 |
|----|----------|---------------------------------|
|----|----------|---------------------------------|



Amazonでお買い求めいただけます。

## 収支計算書 (2011年4月1日～2012年3月31日)

(単位:千円)

科目	2010年度	2011年度			2012年度	
	実績	計画	実績	対計画達成率	計画	対前年度成長率
[1]コミュニティファクトリー経営	5,558	8,291	6,846	83%	16,568	242%
[2]サポーター・寄付事業	61,284	65,415	69,181	106%	85,670	124%
会費	36,767	42,915	39,484	92%	48,000	122%
寄付金	19,201	15,400	26,663	173%	25,870	97%
助成金・補助金等	2,650	1,500	1,770	118%	8,750	494%
その他(講演会・書籍販売等)	2,666	5,600	1,264	23%	3,050	241%
[3]IT事業	55,873	25,660	27,200	106%	—	—
[4]スタディツアー事業	2,026	1,800	936	52%	1,000	107%
[5]その他(為替差益・雑収入等)	439	—	993	—	—	—
当期収入合計	125,180	101,166	105,156	104%	103,238	98%

支出	[1]コミュニティファクトリー経営	15,545	20,661	16,055	78%	25,511	159%
	[2]孤児院支援事業	2,712	4,036	2,795	69%	5,655	202%
	海外活動費						
	[3]警察支援事業	3,638	3,745	3,466	93%	4,805	139%
	[4]カンボジア事務局	6,398	5,063	3,299	65%	6,403	194%
	[5]インド事業	—	—	—	—	12,465	—
	[6]調査活動	—	5,477	3,745	68%	4,599	123%
	国内活動費						
	[7]サポーター・寄付事業	16,808	25,110	17,647	70%	27,443	156%
	[8]IT事業	29,199	19,474	22,580	116%	—	—
	[9]スタディツアー事業	882	1,400	556	40%	240	43%
	[10]日本事務局	29,200	17,023	26,862	158%	18,356	68%
その他							
[11]その他(為替差損・雑損失等)	964	—	42	—	—	—	
[12]租税公課/法人税等	2,447	1,000	1,285	129%	1,000	78%	
当期支出合計	107,793	102,989	94,587	92%	106,477	113%	

収支	当期収支差額	17,387	-1,823	10,569	—	-3,239	-31%
	前期繰越収支差額	31,666	49,053	49,053	100%	59,622	122%
	次期繰越収支差額	49,053	47,230	59,622	126%	56,383	95%

収支計算書、貸借対照表は、会計帳簿の記載金額と一致し、NPO法人かものはしプロジェクトの収支状況および財政状態を正しく示していると認める。

宇野雅幸

## 貸借対照表 (2012年3月31日時点)

(単位:千円)

科目	金額
現金	1,476
預金	50,168
売掛金	7,700
流動資産	
商品	407
製品	106
原材料	2,675
仕掛品	99
その他	633
流動資産合計	63,264
固定資産	
建物	228
差入保証金	826
固定資産合計	1,055
資産合計	64,319

(単位:千円)

科目	金額
負債	
未払金	2,784
流動負債	
前受金	468
預り金	1,444
流動負債合計	4,696
純資産	
資本金	500
利益剰余金	59,123
純資産合計	59,623
負債・純資産合計	64,319

## 財務に関する分析

### 2011年度報告

「収入」は1億515万円と目標に対し104%と上回り、「支出」は9,458万円と計画より92%に抑えることができた。結果、「収支」が-182万円の計画であったところ、1,056万円となり、当面の活動を推進するに必要な資金が確保できた。

コミュニティファクトリー経営は、カンボジア国内の売上げに限ると計画以上に好調であったため、前年度比165%に伸びた。一方で、好調な販売に生産が追いつかず、日本側の販売にまで商品を十分にまわすことができなかったため、全体の「収入」としては未達に終わった。

貸借対照表の「売掛金」が多いのは、IT事業の繁忙期が例年2月3月となるためである。

### 中長期的な資金調達方針

事業環境の変化が早い中、今後の中長期的な成長をさせることが難しいと判断したため、赤字に転落する前に、IT事業は2011年度末をもって解散を決定した。安定成長しているサポーター・寄付事業を主な財源として、今後もさらに拡大成長させる。とくに、現状約2,500名のサポーター会員を3年以内に5,000名に拡大させることに注力する。新規財源として、海外での資金調達活動や日本国内での助成金・補助金の獲得、その他の事業の開発について取り組みをおこなう。

### 2012年度計画

「収入」はIT事業の解散を受けて、1億323万円と規模は若干縮小するが、資金調達効率の良いサポーター・寄付事業を成長させることで、より多くの資金を現地に送ることができる。

コミュニティファクトリー経営は、事業拡大により「収入」(前年度比242%)・「支出」(前年度比159%)ともに増加する。結果、赤字幅が改善される。

新たにインドへ支援地域を拡大し、1,246万円の資金投入を行う。

それらにより、-323万円の赤字となる計画だが、2011年度収支の活用により資金繰り上は問題ない。